

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成27年12月25日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4691200275
法人名	株式会社 ケイシン
事業所名	グループホーム こくぶ太陽の家
所在地	鹿児島県霧島市国分中央一丁目24番地24号 (電話) 0995-48-7320
自己評価作成日	平成27年11月25日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島県鹿児島市下荒田2丁目48番13号
訪問調査日	平成27年12月15日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

入居様様の大きな病気や事故も無く、日々穏やかに過ごせる環境作りに努めています。

家族の方々も気兼ねなく相談に見え、より良い信頼関係が築ける様支援しています。

地域ひろばを通じて地域の方々や近隣の方々との広く友好な関係作りに努めています。

ライフサポートワーカーを通じて自施設だけでなく、霧島市の介護事業の活動の支援にも努めています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

当ホームは、近隣には大型の商業施設や病院、公的機関などにも恵まれ、利便性の高い環境にあり、少し奥まった武家通りの名が残る閑静な住宅地の一角に開設されている。同敷地内には法人の障がい者児童サービスも併設されており、子供たちとの交流は利用者の楽しみになっている。

理念に基づき、管理者や職員は1ユニットの少人数なればこそその利用者個々の思いの汲み取りや傾聴を重んじた細やかなケアを実践している。

市が任命するライフサポートワーカーの資格取得の職員も増えており、介護相談だけではなく、地域の集まりの場としてそば打ちや勉強会など毎回、趣向を凝らして「地域ひろば」を展開している。交流の輪が広まってきており、閉鎖的であった地域のホームへの理解と協力体制を築くまでの関係を作り上げている。管理者や職員の並々ならぬ努力は地域に向け高い貢献となり結果を出している。

職員はお互いに気づきを指摘し合い、明るく前向きな姿勢でサービスの質の向上を目指している。来春から管理者が交代する予定もあるが、理念の基盤を引き継ぎ新たな企画や展開が期待できる(楽しみな)グループホームである。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	法人全体の理念・独自の理念を掲げ、職員一同思いを一つにして努力している。	開設時に全員で作り上げたホーム独自の理念を掲げている。傾聴することを一番に重んじ個々の思いに寄り添うケアを共有し実践に繋げている。管理者の交代を機に全員で話し合い、見直しの方向である。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	月1回の地域ひろばにて参加される方、講師で来て下さる方どちらも地域の方々による事もあり交流が広がっている。	地域の集まりの場として市より任命を受け「地域ひろば」を毎月開催している。そば打ちや作品作り、勉強会など多様な内容になっており、地域住民の参加も多くある。野菜の差し入れや、回覧板の受け渡しなど日常的に交流している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	ライフサポートワーカーも二人となり機会も増えた為、相談や利用して頂ける様声掛けを行っている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	年2回の家族会と運営推進会議を同時に行う事により、ご家族の思いも聞いて頂けている。	民生委員、家族代表、行政他、関係者の出席で2か月置きの定期開催である。状況報告の他、都度、議題を設け、案内を出している。家族会と合同で行う機会も設けており、意見交換は活発に行われ、サービスの反映に繋げるように努めている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	担当者を運営推進会議や家族会へ招いて自施設の現状報告や家族の想いを聴いて頂き、積極的に指導頂けている。	ライフサポートワークの関連もあり、頻繁に連携を取り合い、気軽に相談や報告ができる良好な関係ができています。運営推進会議への出席もあり、ホームの現状も理解を得られている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束委員会での話し合いの機会を設けている。玄関の施錠や入床等、拘束の無い自由な生活の支援に努めている。	外出傾向の利用者には、見守りを重視し職員の連携で玄関の施錠はせずに自由な暮らしを尊重している。過度な介護についてなど、職員はミーティングで活発な意見を出し合い、身体拘束の弊害について常に意識を高く持ち、気付きが来ている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	身体的虐待の防止は勿論、精神的な部分での虐待に繋がらない様、日頃の言動や行動の抑制には十分な配慮をし、職員同士でも注意し合っている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	成年後見人の方々との手紙や電話等を通じて密に話をし、対応させて頂いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約時は目通し頂きながら読み上げ、納得頂いている。改定の際は近くの方は面会の際、遠方の方は文書にて同意書を頂いている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>毎月キーパーソンの方へ現状報告の手紙を出している。また、面会時や家族会にて要望を伺っている。</p>	<p>年に2回家族会を開いており、参加率もよく、意見や要望の聞き取りの機会にしている。面会時や遠方の家族には電話や手紙で状況報告をしており気兼ねなく何でも言える雰囲気づくりに努めている。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>日常職員の意見や提案は聞かれている。月1回の本部での管理者会議にて職員の意見は出している。</p>	<p>管理者と共に職員は全員で協力し合い、コミュニケーションが取れて働きやすい環境にある。意見や要望はその都度聞き取りをして、サービスの反映に繋げるようにしている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>介護支援専門員の欠員により資格手当がアップされ、やりがいや意欲への繋がりがもてそうである。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>研修は積極的に受ける様に薦められており、時間の確保に全員でフォロー出来る仕組みが出来ている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>研修やレクリエーション（ミニバレー大会等）に参加して交流し刺激となっている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>本人の話や思いを傾聴し共感することによって安心感を与え、穏やかに過ごせる様に努めている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>家族会を開いたり御家族の来訪時、また病院受診等いつでも話し易い時間と環境を提供出来る様に努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>家族と御本人の要望に応えられる様職員間でサービスの内容を協議し、場合によっては家族への説明、同意の元で必要なサービスが出来る様に努めている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>御本人を趣味や出来る事を尊重しながら、生活の中に楽しみを持って頂ける様に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	年間を通しての行事や面会等、より多くの時間をゆっくりと一緒に過ごして頂ける様に連絡を取っている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会時間に制限を設けず、来所された方には時間を気にせず過ごして頂いている。訪問時には知人や近隣の方へも来て頂ける様に声掛けしている。	家族や友人の訪問の他、「地域ひろば」を通して顔馴染みの人も出来ている。週に1回近隣の大学生がボランティアで慰問に訪れており、孫の世代との交流も楽しい時間になっている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	食事やレクリエーションの時間には、本人の意思を尊重しつつ出来る限りホールへ出て来て頂いている。共通の会話や好きな歌など馴染みやすさを考え提供している。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	これまでの情報等を共有、保存し退去後も役立つ事が出来る様努めている。相談や支援がしやすい環境にも配慮している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	一人ひとりに合ったサービス提供を行なえる様、利用者様の会話や希望に耳を傾け、思いの把握に努めている。	意思確認が出来る利用者は少ないが、傾聴を重んじ個々の思いに寄り添えるように本人本位の対応を心掛けている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	御家族との面会時の会話や利用者様の会話を記録に残し、職員間で情報を共有と把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	業務の中で常に一人ひとりの心身の状態や現状を記録に残し、ミーティング等でも話し合い職員間での情報の共有に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	利用者様それぞれに担当を決めており日頃から他スタッフと意見交換を行いながら、ミーティング等で話し合い介護計画に反映させている。	本人や家族の意見、要望を取り入れ、毎月のミーティング時などに、ケアカンファレンスを行いプランに反映している。月毎にモニタリングを行い、評価を踏まえて個々に応じ、現状に即した介護計画になるように努めている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>個人経過表にはその日に行ったケアや本人の状況、発言等を記載している。日誌に特変があった方の情報を記載する欄を設け、申し送り等に活用している。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>本人や家族のその時の状況に応じて対応しており、その時の状態は電話連絡等を行い、家族の不安を軽減出来る様支援している。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>行政や毎月行っている地域ひろば等に参加し、地域の方との交流を深め、楽しく安心して生活出来る様努めている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>個々にかかりつけ医があり定期受診を行い、必要時はスタッフが付き添い情報提供を行っている。急な発熱等は近医により往診してもらい、適切な診療を受けられる様支援している。</p>	<p>病院受診は基本的に家族同行であるが、車椅子対応の利用者も増えており、ホームで同行している。ホームのすぐ近くの医療機関とも、緊急時を含め、日常的に適切な診療が受けられるように密に連携が図られている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	日々の生活の中で、状態の変化やバイタルサインの異常値、入浴時に身体のチェック等行い、問題がある際は看護スタッフに報告し必要に応じて病院受診等も行っている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	入院の際は状況提供書を活用し、入居時の状況や状態の変化などわかる様努めている。また、お見舞いに行った際は医療関係者より入院時の状況を聞き、スタッフ間で情報の共有も行っている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	担当者会議の時などゆっくりした時間に、御家族と急変時の対応について相談し、御家族の希望に添える様支援している。	重度化した場合や終末期のあり方については入所時に説明し、同意も得ている。ホームでの看取り希望の利用者や家族も居り、今後も段階に応じた意思確認と主治医の指示のもと、全員で方向性を共有し、ホームで出来る最大限の支援に取り組む意向である。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	消防訓練や救急蘇生の勉強会を行い、知識を身につけている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>消防立会いの避難訓練や運営推進会議での地域の方への呼び掛け、設備点検の実施。隣接する児童施設との合同訓練も行い、予防に努めている。</p>	<p>年に2回ディサービスの児童施設と合同で避難訓練を行って連携をとっている。防災設備の点検や消火器の使用法などの訓練も行っている。災害時の最小限の備蓄も今後、再度、見直す方向である。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	言葉遣いに気を配り失礼のない態度で接する。更衣や排泄、入浴の際には特に他の方の目に触れない様、プライバシーに配慮している。	言葉の乱れなど、管理者はその場で気付く事を大事に考えており、都度注意を促している。ミーティング時に話し合う場を持ち、常に人格の尊重とプライバシーの確保に配慮したケアに努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人の思いや希望を組んだレクリエーションや散歩、外気浴や外出が出来る様に機会を設けている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	得意な家事の手伝いをお願いして一緒に楽しんで作業している。好きなテレビ番組を視聴して楽しんだり催しに参加している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	離床の際は髪を整え衣服等を選んで頂いている。入浴準備、更衣時は一緒に準備して頂いている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	一人ひとりの体調に配慮した食事形態にする（大きさや寮、固さなど）。季節感、行事、好みに合わせたメニューを工夫し、調理時出来る範囲でお手伝い頂く。	新年会や運動会、夏祭りなど年間を通して手作りの行事食が豊富に提供されている。家族の面会時には、食事を出し一緒に食べてもらえるような工夫もしている。花見では、弁当持参で戸外での食事を楽しんでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量チェックは毎回行い個人に合わせ、食べやすい大きさにも工夫している。水分摂取量もチェックしながらお茶やジュースなど変化をつけ時間で声掛けし飲んで頂いている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後は歯磨き、うがいの誘導をしている。自分で出来る方には自分でしてもらい、清潔保持に努めている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	時間をみてオムツ交換出来ている。トイレで排泄出来る方も時間で声掛けし、オムツパットへの漏れがないかチェックしている。	個々のパターンに沿って、トイレでの排泄に向けた支援を行い誘導している。排泄時の介助や確認はほぼ全員が必要であり、おむつの利用者も多くなってはきているが、できる限りトイレでの排泄を促し、生活レベルの向上や自信に繋げる努力をしている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	時間で水分補給を促している。また、お茶で進まない場合は、牛乳やジュースなど飲みやすいものに替え摂取頂いている。排便がない場合は必要に応じて摘便し便秘予防に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	個々の状態に合わせて入浴の施行。拒否が強い際には時間を置く、他の職員が声掛けする等変化をつけている。浴室やお湯の温度にも配慮し、不安なく入って頂ける声掛けに努めている。	基本は一日おきのペースであるが、年齢や状態に応じ柔軟に対応している。皮膚の状態に応じた入浴剤を使用したり、足浴で安眠を促すなどし、ゆったりとくつろげる時間帯になるように支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	昼夜逆転にならない様、個々の状態を十分に観察しながら臥床頂いている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個々の内服状況が分かる様ファイリングし、すぐに確認出来る様保管している。頓服薬服用の際には日誌や状態一覧表へも記載し、全員が把握出来る体制が出来ている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	季節の行事や地域ひろばへの参加、外気浴や食事の手伝い等その日の状況や本人の意思を確認しながら参加頂いている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	個々の状態に合わせて、出来る限り外気浴や散歩を実施している。	一日一回は外に出て外気欲や散歩をすることで季節感を肌で感じ取れるようにしている。職員と買い物に出かける利用者もいる。車椅子対応のリフト車の設備もあり、個別支援で可能な限り希望の外出ができるように支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	御家族よりお小遣いをお預かりし、施設にて保管や管理を行っている。欲しい物や補充が必要な場合は御本人や御家族へ報告や相談をし購入している。		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	御本人の希望した時や御家族から連絡来た時などいつでもやり取りが行える様に支援している。		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	ホールなど共用空間には、その時々の方々の行事の写真や季節に合わせた飾りつけを行ったり、定時毎に室内の温度と湿度のチェックを行い、心地よく過ごして頂ける様に調整している。	天井が高く開放的で明るいホーム内は、清掃が行き届き、臭いもなく清潔に管理されている。対面キッチンからは、調理をしながら居室やダイニングが一望でき利用者の見守りを最優先した造りになっている。大型のソファが適所に置かれ、利用者は気兼ねなく好きな場所でゆったりとくつろげる工夫をしている。	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	テーブル席は話し相手や気の合う人同士で楽しく心地よく過ごして頂ける様に気を配り、ソファ席も自由に利用して頂いています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>本人の趣味や好みを優先に、自身で制作した物も飾ったりと落ち着ける居室空間作りに努めている。</p>	<p>災害時を想定し、掃き出しの窓からはベランダに容易に避難ができる造りである。ぬいぐるみや位牌など思い入れの深い品々を持ち込み、家族写真や手作りの作品などに囲まれ、個々が安心して暮らせるプライベート空間になっている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>車椅子で自由に行き来出来るホール空間と、「トイレ」「風呂場」等場所が分かる様に目印を付けて行動がし易い環境作りに努めている。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない